

(1) 実施機関名：

海上保安庁

(2) 研究課題(または観測項目)名：

海底地殻変動観測

(3) 関連の深い建議の項目：

5 研究を推進するための体制の整備

(3) 研究基盤の開発・整備

イ. 観測・解析技術の開発

(4) その他関連する建議の項目：

1 地震・火山現象の解明のための研究

(2) 低頻度大規模地震・火山噴火現象の解明

地震

2 地震・火山噴火の予測のための研究

(1) 地震発生の新たな長期予測

ア. 海溝型巨大地震の長期予測

(2) 地殻活動モニタリングに基づく地震発生予測

ア. プレート境界滑りの時空間変化の把握に基づく予測

5 研究を推進するための体制の整備

(2) 総合的研究

ア. 南海トラフ沿いの巨大地震

(5) 総合的研究との関連：

南海トラフ沿いの巨大地震

(6) 平成 30 年度までの関連する研究成果(または観測実績)の概要：

日本海溝沿いの観測から、東北沖地震前のプレートの沈み込みによる変動、東北沖地震の断層すべりによる変動、東北沖地震後の余効変動を海底において観測した。

南海トラフ沿いの観測から、プレートの沈み込みによる変動を海底で観測し、プレート境界のすべり欠損レートを推定した。また、紀伊水道沖の海底において浅部の SSE に起因すると考えられる非定常変動を観測した。

観測手法・解析技術の高度化のための研究開発により、従来よりも測位精度・時間分解能が向上した。

(7) 本課題の5か年の到達目標：

プレート境界の固着状態の把握のため、GNSS - 音響測距結合方式による海底地殻変動観測を継続する。観測点の増設によって空間分解能の向上を図るとともに、測位精度および時間分解能の向上を目指した技術開発を行い、固着状態の時間変化の把握に努める。

(8) 本課題の5か年計画の概要 :

日本海溝沿い、南海トラフ沿いなど、日本近海の花溝型巨大地震の震源域となる海域において、海底地殻変動観測を継続するとともに、観測の高度化のための技術開発を行う。

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

海上保安庁海洋情報部沿岸調査課海洋防災調査室
他機関との共同研究の有無 : 有
東北大学災害科学国際研究所
名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター
東京大学生産技術研究所
海洋研究開発機構

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 海上保安庁海洋情報部沿岸調査課海洋防災調査室
電話 : 03-3595-3632
e-mail : 下記 URL の問い合わせフォームから問い合わせください。
URL : <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

(11) この研究課題 (または観測項目) の連絡担当者

氏名 : 石川直史
所属 : 海上保安庁海洋情報部技術・国際課